

A. 安松幼稚園の考え方(人としての育み)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 幼児期にこそ、人としての骨太なところを育てたい	①	5	224	85.2	4	32	12.2	3	7	2.7	2	0	0	1	0	0
② 教育は子供の周りから困難やプレッシャーを取り除くのではなくそれらを乗り越える力をつけることにある	②	5	224	84.8	4	36	13.6	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
③ 幼児期には、一生懸命に頑張り、何かを成し遂げた時に感じることの出来る喜びや達成感を体験させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への積極性や自尊感情を養う基となる	③	5	237	90.1	4	25	9.5	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
④ 基本的な生活習慣は、幼児期に身につけさせるべきである	④	5	244	92.4	4	18	6.8	3	2	0.8	2	0	0	1	0	0
⑤ 幼児期に、人として良いこと悪いことなどの善悪のけじめを身に付けさせたい	⑤	5	254	96.2	4	9	3.4	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
⑥ 幼児期に、我慢すること・辛抱することを学ぶことは大切である	⑥	5	237	89.8	4	25	9.5	3	2	0.8	2	0	0	1	0	0
⑦ 幼児期には、ちょっとした失敗の経験も必要である	⑦	5	234	88.6	4	27	10.2	3	3	1.1	2	0	0	1	0	0
⑧ 幼児期には子供の良いところを、とことんほめることが大切である	⑧	5	233	88.3	4	27	10.2	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
⑨ それとともに、心にストンと落ちるような注意の仕方大切である	⑨	5	196	74.5	4	50	19	3	12	4.6	2	3	1.1	1	0	0
⑩ 保護者に対しても、子供の育ちについて問題があると感じた時はそれを明確に伝え、考えをぶつけあうのが、本当の親切である	⑩	5	200	75.8	4	50	18.9	3	14	5.3	2	0	0	1	0	0

A. 安松幼稚園の考え方(人としての育み)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 幼児期にこそ、人としての骨太なところを育てたい	①	5	224	85.2	4	32	12.2	3	7	2.7	2	0	0	1	0	0
② 教育は子供の周りから困難やプレッシャーを取り除くのではなくそれらを乗り越える力をつけることにある	②	5	224	84.8	4	36	13.6	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
③ 幼児期には、一生懸命に頑張り、何かを成し遂げた時に感じることの出来る喜びや達成感を体験させることがとても重要であり、今後の人生で色々な物事への積極性や自尊感情を養う基となる	③	5	237	90.1	4	25	9.5	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
④ 基本的な生活習慣は、幼児期に身につけさせるべきである	④	5	244	92.4	4	18	6.8	3	2	0.8	2	0	0	1	0	0
⑤ 幼児期に、人として良いこと悪いことなどの善悪のけじめを身に付けさせたい	⑤	5	254	96.2	4	9	3.4	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
⑥ 幼児期に、我慢すること・辛抱することを学ぶことは大切である	⑥	5	237	89.8	4	25	9.5	3	2	0.8	2	0	0	1	0	0
⑦ 幼児期には、ちょっとした失敗の経験も必要である	⑦	5	234	88.6	4	27	10.2	3	3	1.1	2	0	0	1	0	0
⑧ 幼児期には子供の良いところを、とことんほめることが大切である	⑧	5	233	88.3	4	27	10.2	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
⑨ それとともに、心にストンと落ちるような注意の仕方大切である	⑨	5	196	74.5	4	50	19	3	12	4.6	2	3	1.1	1	0	0
⑩ 保護者に対しても、子供の育ちについて問題があると感じた時はそれを明確に伝え、考えをぶつけあうのが、本当の親切である	⑩	5	200	75.8	4	50	18.9	3	14	5.3	2	0	0	1	0	0

B. 安松幼稚園の考え方(教材面)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 教育課程(教材開発)は、大人が頭や机上で作り出すのではなく、子供の発達段階に基づいて決められるべきである	①	5	219	83.3	4	31	11.8	3	13	4.9	2	0	0	1	0	0
② 幼児期の記憶する能力の高さを教育に利用しない手はない	②	5	217	82.2	4	37	14	3	9	3.4	2	0	0	1	0	0
③ 幼児期は特定の領域に限定するのではなく、全ての分野を与えるべきであり、言語・文字・体育・音楽・絵画造形・社会・科学的なこと・人の優しさに触れる物語等 色々な分野に触れさせるべきである	③	5	244	92.4	4	19	7.2	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
④ 日本の文化である俳句指導は続けてほしい	④	5	190	72	4	52	19.7	3	20	7.6	2	0	0	1	1	0.4
⑤ 論語や吉田松陰の言葉などの古典に触れさせることを続けてほしい	⑤	5	178	67.4	4	51	19.3	3	24	9.1	2	0	0	1	1	0.4

B. 安松幼稚園の考え方(教材面)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 教育課程(教材開発)は、大人が頭や机上で作り出すのではなく、子供の発達段階に基づいて決められるべきである	①	5	219	83.3	4	31	11.8	3	13	4.9	2	0	0	1	0	0
② 幼児期の記憶する能力の高さを教育に利用しない手はない	②	5	217	82.2	4	37	14	3	9	3.4	2	0	0	1	0	0
③ 幼児期は特定の領域に限定するのではなく、全ての分野を与えるべきであり、言語・文字・体育・音楽・絵画造形・社会・科学的なこと・人の優しさに触れる物語等 色々な分野に触れさせるべきである	③	5	244	92.4	4	19	7.2	3	1	0.4	2	0	0	1	0	0
④ 日本の文化である俳句指導は続けてほしい	④	5	190	72	4	52	19.7	3	20	7.6	2	0	0	1	1	0.4
⑤ 論語や吉田松陰の言葉などの古典に触れさせることを続けてほしい	⑤	5	178	67.4	4	51	19.3	3	24	9.1	2	0	0	1	1	0.4

C. 安松幼稚園の行事(運動会・生活発表会・遠足等は幼稚園行事の定番として、それ以外の行事について、続けてほしいかどうかについて、お答え下さい)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 園内お楽しみ音楽会	①	5	241	91.3	4	18	6.8	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
② 季節行事(落ち葉拾い・みかん狩り・ぶどう狩り)	②	5	240	91.3	4	17	6.5	3	6	2.3	2	0	0	1	0	0
③ 泉の森ホールでの唱歌・童謡コンサート	③	5	206	78.6	4	29	11.1	3	13	5	2	3	1.1	1	0	0
④ 作品展	④	5	226	85.6	4	27	10.2	3	11	4.2	2	0	0	1	0	0
⑤ 末広公園のマラソン	⑤	5	210	79.5	4	31	11.7	3	11	4.2	2	0	0	1	0	0
⑥ 年長さんのお別れ登山(15Km)	⑥	5	141	53.4	4	43	16.3	3	26	9.8	2	3	1.1	1	0	0
⑦ 卒園生お楽しみ登山(20Km)	⑦	5	119	45.2	4	48	18.3	3	37	14.1	2	3	1.1	1	0	0

C. 安松幼稚園の行事

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
① 園内お楽しみ音楽会	①	5	241	91.3	4	18	6.8	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
② 季節行事(落ち葉拾い・みかん狩り・ぶどう狩り)	②	5	240	91.3	4	17	6.5	3	6	2.3	2	0	0	1	0	0
③ 泉の森ホールでの唱歌・童謡コンサート	③	5	206	78.6	4	29	11.1	3	13	5	2	3	1.1	1	0	0
④ 作品展	④	5	226	85.6	4	27	10.2	3	11	4.2	2	0	0	1	0	0
⑤ 末広公園のマラソン	⑤	5	210	79.5	4	31	11.7	3	11	4.2	2	0	0	1	0	0
⑥ 年長さんのお別れ登山(15Km)	⑥	5	141	53.4	4	43	16.3	3	26	9.8	2	3	1.1	1	0	0
⑦ 卒園生お楽しみ登山(20Km)	⑦	5	119	45.2	4	48	18.3	3	37	14.1	2	3	1.1	1	0	0

D. 安松幼稚園の先生

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
①理事長・園長の理念が明確に伝わってくる	①	5	240	91.3	4	20	7.6	3	3	1.1	2	0	0	1	0	0
②理事長・園長には、先生を育てる力がある	②	5	227	86	4	30	11.4	3	4	1.5	2	1	0.4	1	0	0
③先生方は園の方針を理解し、同じ方向・考えに立って教育に取り組んでいる	③	5	233	88.6	4	27	10.3	3	3	1.1	2	0	0	1	0	0
④先生方は、熱～い心を持って子供に接してくれている	④	5	245	92.8	4	15	5.7	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
⑤子供に注意し叱る必要のある時は、きちっと対応してくれる	⑤	5	233	88.3	4	27	10.2	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0
⑥保護者に迎合することなく、必要なことは苦言も含めて伝えてくれる	⑥	5	220	83.3	4	28	10.6	3	13	4.9	2	0	0	1	0	0
⑦どの先生に伝えてもきちっと伝わる	⑦	5	204	77.3	4	46	17.4	3	9	3.4	2	2	0.8	1	1	0.4
⑧子供に担任だけが関わるのではなく、全ての先生で見守ってくれている	⑧	5	231	87.5	4	26	9.8	3	6	2.3	2	1	0.4	1	0	0
⑨問題が起こった時の対処が早い	⑨	5	207	79	4	30	11.5	3	13	5	2	0	0	1	1	0.4
⑩先生のレベルは、総合的に判断して高い	⑩	5	228	86.4	4	30	11.4	3	4	1.5	2	0	0	1	0	0

D. 安松幼稚園の先生

E. 子供の人としての育ち(安松幼稚園に入園し次のような変化がありました)

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
①挨拶が出来るようになった	①	5	150	56.8	4	86	32.6	3	24	9.1	2	2	0.8	1	1	0.4
②着替えなど、基本的な生活習慣が身についてきた	②	5	178	67.2	4	66	24.9	3	19	7.2	2	0	0	1	1	0.4
③周りの人に対して優しくなった	③	5	159	60.2	4	81	30.7	3	23	8.7	2	0	0	1	0	0
④元気になり、気力と積極性が身についた	④	5	162	61.8	4	78	29.8	3	21	8	2	0	0	1	1	0.4
⑤頑張ることが出来るようになった	⑤	5	173	64.3	4	79	29.4	3	15	5.6	2	1	0.4	1	0	0
⑥わあっ、そんな風に考えることが出来るようになったのかという事があった	⑥	5	188	70.1	4	57	21.3	3	16	6	2	1	0.4	1	1	0.4
⑦行事など、ダラダラするより一生懸命やった方が楽しいと感じるようになった	⑦	5	169	64	4	69	26.1	3	17	6.4	2	1	0.4	1	0	0

E. 子供の人としての育ち

F. 子供の各領域における育ち

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
①言語の面が発達し、文字や文章に興味をもちだした	①	5	191	72.3	4	59	22.3	3	12	4.5	2	0	0	1	1	0.4
②運動が好きになり体力がついた	②	5	192	72.7	4	47	17.8	3	23	8.7	2	1	0.4	1	1	0.4
③歌や躍りなどが好きになった	③	5	205	77.4	4	39	14.7	3	18	6.8	2	2	0.8	1	0	0
④絵など美術方面の能力が伸びた	④	5	144	54.8	4	68	25.9	3	46	17.5	2	2	0.8	1	2	0.8
⑤色々な面(地震や時事問題を含む)に興味をもちだした	⑤	5	152	57.6	4	79	29.9	3	30	11.4	2	1	0.4	1	1	0.4
⑥行事の前など、自然に、家でも自主トレをやっている	⑥	5	133	50.4	4	79	29.9	3	39	14.8	2	5	1.9	1	5	1.9
⑦積極性が身につく、意欲的になってきた	⑦	5	145	54.9	4	82	31.1	3	32	12.1	2	1	0.4	1	2	0.8

F. 子供の各領域における育ち

G. 保護者の変化

		評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%	評価	家庭数	%
①安松幼稚園との出会いを通じて、子育てに関して参考になることが多くあった	①	5	201	76.1	4	51	19.3	3	11	4.2	2	1	0.4	1	0	0
②教育に関して、私自身の考えが確立した(変化した)	②	5	125	47.3	4	89	33.7	3	42	15.9	2	2	0.8	1	1	0.4
③お母さんなどの保護者間で、いいお友達が出来た	③	5	178	67.7	4	48	18.3	3	32	12.2	2	0	0	1	1	0.4
④安松幼稚園に入園させて良かった	④	5	238	90.2	4	20	7.6	3	6	2.3	2	0	0	1	0	0

G. 保護者の変化